

線形代数学第2 - 中間試験問題 -

情報システム工学科1年生

平成18年度後期 - 2006.12.13 -

1. 曲線 $y = C + D4^t$ で3点 $(t, y) = (0, 1), (1/2, 2), (1, 4)$ を近似するとき, 誤差の二乗和を最小にするように C, D を求めよ. y, C, D, t はスカラーである. また, $t-y$ 平面上に3点 $(t, y) = (0, 1), (1/2, 2), (1, 4)$ と $y = C + D4^t$ の概略を図示せよ.
2. ベクトル $\mathbf{b} = [1, -1, 1]^T$ をベクトル $\mathbf{a} = [1, 0, 1]^T$ 上に射影した成分 b_1 とこれに直交する成分 b_2 に分解せよ. さらに, ベクトル b_1 と b_2 が直交することを確認せよ (参考) b_1 は射影の式を用いて求める.
3. 線形独立なベクトル $\mathbf{a}_1 = [1, 1, 0]^T, \mathbf{a}_2 = [1, 0, -1]^T, \mathbf{a}_3 = [1, 1, -1]^T$ を互いに直交するベクトル $\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2, \mathbf{v}_3$ に変換せよ (ベクトルの長さを1にする必要はない). さらに, それらが互いに直交することを確認せよ (参考) Gram-Schmidt の直交化法を利用する.
4. 次の行列の擬似逆行列を求めよ.

$$\mathbf{A} = \begin{bmatrix} 1 & -1 \\ -1 & 0 \\ 0 & 1 \\ 1 & 2 \end{bmatrix} \quad \mathbf{B} = \begin{bmatrix} 1 & -1 & 0 & 2 \\ -1 & 0 & 2 & 1 \end{bmatrix}$$

5. 階数 r の $m \times n$ 行列 \mathbf{A} について, $\mathbf{A}^T \mathbf{A}$ は対称行列であり, その階数は r であることを証明せよ. (参考) 対称行列は $\mathbf{B}^T = \mathbf{B}$ を満たす. 行列の列の数を n , 階数を r とすると, 零空間の次元は $n - r$ であることを踏まえて, \mathbf{A} と $\mathbf{A}^T \mathbf{A}$ の零空間が同じであることを示す.
6. 次のベクトルが線形独立であるか調べよ.

$$\begin{aligned} \mathbf{a} &= [1, 0, -1, 2, 0]^T \\ \mathbf{b} &= [-1, 2, 0, 1, -1]^T \\ \mathbf{c} &= [1, -1, 0, 2, 1]^T \end{aligned}$$

7. 次の行列式を求めよ. 行列の性質1~10, または行列式の適当な公式を用いて計算する.

$$\mathbf{A} = \begin{bmatrix} 1 & 0 & -1 & 2 \\ -1 & 2 & 0 & 1 \\ 2 & 1 & -1 & 0 \\ 0 & -2 & -1 & 3 \end{bmatrix} \quad \mathbf{B} = \begin{bmatrix} 2 & 0 & 0 & 0 \\ -1 & -2 & 0 & 0 \\ 7 & -3 & 3 & 0 \\ 4 & 2 & 0 & 3 \end{bmatrix} \quad \mathbf{C} = \begin{bmatrix} 1 & -2 & 3 & 1 \\ 2 & -4 & -1 & 2 \\ 5 & 2 & 3 & -1 \\ 7 & 6 & 2 & -3 \end{bmatrix} \quad \mathbf{D} = \begin{bmatrix} 0 & 1 & 0 & 0 \\ 0 & 5 & 2 & 0 \\ 1 & -7 & 6 & 0 \\ 2 & 5 & 9 & 1 \end{bmatrix}$$

8. 次の行列 \mathbf{A} の逆行列を $\text{adj } \mathbf{A} / \det \mathbf{A}$ により求めよ.

$$\mathbf{A} = \begin{bmatrix} a & b \\ c & d \end{bmatrix}$$